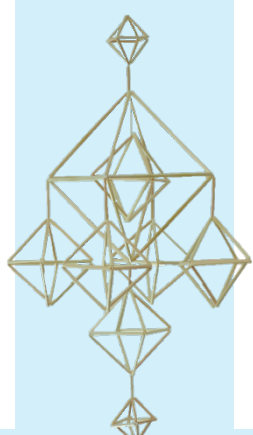


Disclosure 2024



(令和6年度上半期)

CONTENTS

ごあいさつ	1
JA兵庫南の概要	1
1. 経営理念	2
2. 経営方針	3
3. 事業活動トピックス	5
4. JA兵庫南 自己改革取組状況(協同活動ハイライト)	6
5. 農業振興活動	8
6. 地域貢献情報	9
7. 事業の概況（令和6年度上半期）	11
（1）事業実績の推移	12
（2）有価証券の時価情報	15
（3）金銭の信託の時価情報	15
（4）預かり資産の状況	15
（5）自己資本比率（単体）	15
8. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示 債権区分に基づく債権の保全状況	16

ごあいさつ

『「安心」「笑顔」の種を蒔き、
未来へ「つながる」実をつくろう』

組合員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

J A兵庫南は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当J Aに対するご理解を一層深めていただくために、当J Aの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者の皆様にわかりやすくまとめた「ディスクローチャー誌 2024 年度（上半期）」を作成いたしました。

当J Aの事業をさらにご利用いただくための一助として、皆様に是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

組合員の皆様のますますのご繁栄を祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

令和6年12月

兵庫南農業協同組合
代表理事組合長 野村 隆幸

● J A兵庫南の概要 ●

名称：	兵庫南農業協同組合
代表理事組合長：	野村 隆幸
設立：	平成11年4月
本店所在地：	兵庫県加古川市加古川町寺家町621番地
支店等：	支店 15 支店
：	事業所 25 か所
役員数：	34 人
職員数：	正職員 346 人
：	臨時・嘱託 176 人
：	パート 96 人
：	合計 618 人
組合員数：	正組合員 13,935 人
：	准組合員 51,014 人
：	合計 64,949 人
出資金：	3,661 百万円
総資産：	719,207 百万円

上記の数値は令和6年9月末現在です。

1. 経営理念

1. 経営理念

『組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するＪＡづくりと、
人・農業・自然が共生できる地域社会づくりをめざします』

- 経済の国際化にともなう環境変化や農業をとりまく環境の変化、さらに高齢化社会の到来など、将来に対する不安が募り不安定な状況が続いています。このような時代にあってＪＡは、組合員と共に繁栄し、「安心」して「安全」な商品やサービスを「安定」的に利用していただくための経営努力を続けてまいります。
- 農業は、大地、水、空気、太陽など自然の恩恵を受けて成り立つ産業です。新鮮で安全な農産物の供給、人とのふれあいを大切に、人間関係を深め地域社会への貢献を通じて、人・農業・自然が共生できる地域社会づくりに取り組んでいきます。

2. メインテーマ

『「安心」「笑顔」の種を蒔き、
未来へ「つながる」実をつくろう』

3. 基本方針

- Ⅰ『安心して続けられる農業の実現』（地域営農振興計画）
- Ⅱ『笑顔あふれる地域づくり』
- Ⅲ『次代へつながる経営改革の実践』

4. 職員行動規範

『感謝・挑戦・自律』

常に感謝の念を持ち、何事にもチャレンジの姿勢を忘れず、
自ら考え責任ある行動をします。



2. 経営方針

●基本方針（令和6年度）

ウクライナ紛争の長期化など、不安定な世界情勢の影響などから資源価格や原材料価格は高止まりしており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。また、人口減少や低金利政策の長期化により社会・経済環境が大きく変化するなど、JAを取り巻く環境は厳しさを増し、大きく変化しています。

少子高齢化による人口減少は、当JAの組合員構成にも影響を及ぼし、70歳以上の組合員が45%を占める状況となっています。若年層の組合員加入を勧めるため、令和4年度より組合員出産祝金制度を創設し、令和5年度はこの制度による新規組合員として92人が加入し、全国的に組合員数が減少する中、全体で1,249人の組合員増加を図ることができました。

国内経済に目を移すと、日本銀行がマイナス金利政策の解除を決定するなど金融政策が見直され、また、賃上げによる所得環境の改善を背景とした個人消費の回復が期待される状況となっています。

農業面では食料安全保障への関心は高まる一方、生産基盤の弱体化は加速度的に進行し人手不足も深刻化しています。また、生産資材の価格上昇に応じた農産物への価格転嫁は依然できておらず、農業生産の維持・拡大には多くの課題が残されています。

こうした状況の中、JAグループでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでまいりました。当JAにおいても、利用者懇談会、青壮年部や女性会役員と常勤役員との対話をはじめ、常勤役員が営農経済部門職員とペアを組み、担い手農家を個別に訪問して直接ご意見やご要望をお聞きするなど、組合員との対話を通じて、自己改革に取り組んでまいりました。

また、第9次中期経営計画に基づき、組合員との対話を行いながら、農業者の所得増大や経営基盤の強化を進めてまいりました。今後も多様な組合員の声をJA運営に反映し、地域農業の振興に努めるとともに、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立・強化し、地域に根ざしたJAをめざします。

●営農経済事業方針●

第9次地域営農振興計画の中間年度として、自己改革の実践方針である「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」に取り組むとともに、出向く活動を通じて、担い手との対話と営農指導を実施し、地域農業の振興に取り組みます。

主食用米は、計画的な集荷に努め全農への有利販売及び直売所を中心に直接販売を進めます。

また、麦では実需者からの要望もあり面積拡大に取り組み、販売拡大に努めます。

野菜等では、特産物としてのブランド力を活かし、環境変化に合わせた販売戦略により、新たな販売先の開拓を図ります。

直売所については、新鮮な地元産野菜の充実を図り、利用者の声を取り入れた魅力ある店舗づくりを実施します。

営農渉外担当者の訪問活動により、担い手農家・営農組織・集落への情報提供や相談機能を高め、持続可能な農業を支えるよう取り組みます。また、各営農経済センターでは、相談窓口として利用者の満足度向上に努めます。

●農業経営事業方針●

JA管内では、人口減少や高齢化が進み農業就業人口が減少する中、担い手の確保・育成に向けた取り組みが重要となります。このため、JAではいちご栽培を通じて、施設園芸作物の普及拡大を図るために農業経営に取り組み、農業者の所得増大と産地振興に努めます。また、にじいろ果樹園を活用し、直売所で不足している果樹類については、栽培講習会を開催し生産者の拡大に努めます。

●生活指導事業方針●

第9次中期経営計画の2つめの基本方針である「笑顔あふれる地域づくり」を実現していくため、学校・教育現場との連携を強化し、地域農業の役割を伝える食農教育活動の充実に努めます。また、農畜産物の情報や地域話題をはじめ、JA事業の情報を提供することで、地域農業の応援団づくりと地域の活性化に積極的に取り組みます。

●信用事業方針●

少子高齢化が進む中、時代を取り巻く環境変化を見据え、多様化する組合員・利用者のニーズに対応できる相談体制の強化に取り組みます。複合渉外担当者の育成指導に取り組み、「出向くワンストップ」による相談活動で組合員・利用者に寄り添った業務運営を行います。

また「持続可能な収益性」と「将来にわたる健全性」を確保した経営基盤の確立・強化に取り組みます。

●共済事業方針●

少子高齢化が進む中、また、多様化する組合員・利用者の期待に応え、「安心」と「安全」をお届けします。「ひと・いえ・くるま」の『3Q活動』でアフターフォローや普及活動を通じて、組合員・利用者の満足度を高める活動でシェア拡大に取り組みます。

また、コンプライアンスに対する教育・研修を充実させ事務処理の適正化、不適切な契約の防止に努めます。

●経営管理方針●

アフターコロナ時代の新たな生活様式、気候変動や環境問題の深刻化、国際情勢の混乱に伴う経済の不安定化など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。当JAではこれら環境変化に対して何ら対策を講じないまま推移した場合の将来の収支予測（成り行きシミュレーション）をベースに、持続可能な事業利益が確保できるよう経営改革を実践していきます。全部署において情報通信技術（ICT）を活用した業務効率化やコスト削減を進めるとともに、営農経済事業収支改善として「JA営農・経済事業の成長・効率化プログラム」による検討結果をもとに、JA自己改革と収支改善に取り組みます。

JA兵庫南の管内人口が減少する中、地域の農業者や担い手農家の減少も進んでいます。地域農業を支えていくためにも、JA事業を利用する准組合員はJA運営からみても重要です。将来にわたって、持続可能なJA経営を行うためには、担い手をはじめとした正組合員はもちろんのこと、JA利用者懇談会などを通じて准組合員の意見もJA運営に反映していきます。

また、女性の意見を積極的に反映していくため、女性総代比率・女性役員比率の向上に取り組みます。

3. 事業活動トピックス

4月

- ・ 新入職員入組式
- ・ にじいろふぁ～みんで「いなみトマト祭り」開催
- ・ 「六条大麦フェス」を開催
- ・ JA兵庫南スタートダッシュ大会を開催
- ・ 第26回JA兵庫南女性会総会を開催
- ・ 「第8回JA兵庫南組合長杯」小学生ソフトボール大会



新入職員入組式



JA兵庫南女性会総会

5月

- ・ 管内小学生たちが農協施設を社会科見学
- ・ JAトータルサポートセンター加古川地鎮祭
- ・ JA兵庫南涉外決起大会を開催
- ・ 「にじいろミュージックフェスティバル」を開催



営農経済事業成長・効率化
プログラムキックオフ大会

6月

- ・ 営農経済事業成長・効率化プログラムキックオフ大会
- ・ ちゃぐりんスクール開校式
- ・ スイートモーニング・いなみ野メロン販売開始
- ・ 第25回通常総代会（コスモホール）
- ・ 「JA兵庫南ふぁ～みん杯」稲美町ジュニアソフトボール大会
- ・ 加古川市ゼロカーボンパートナー証贈呈式に出席
- ・ 夏の農機大展示会を開催



通常総代会



ちゃぐりんスクール開校

7月

- ・ 第1回JA利用者懇談会
- ・ 二見支店で「町ぐるみ健診」開催
- ・ いなみ朝市37周年大売出し
- ・ 職員向けの共済仕組み勉強会開催



利用者懇談会

8月

- ・ 役員による担い手農家訪問
- ・ ちゃぐりんスクールで加古川和牛ツアー開催
- ・ 「土づくり資材講習会」を実施
- ・ 特産品「志方いちじく」が初出荷
- ・ 「JA兵庫南少年サッカー交流戦」を開催
- ・ 加古川支店で「親子金融教室」を開催



親子金融教室



「志方いちじく」初出荷

9月

- ・ 「JA兵庫南組合長杯」高砂市スポーツ少年団軟式野球大会
- ・ JA女性会SUGOJYO総踊り大会
- ・ ふぁ～みんレディースカレッジ開講式
- ・ ふぁ～みん男ディカレッジ開講式
- ・ 営農経済事業成長・効率化プログラム最終報告会



SUGOJYO 総踊り大会

4. JA兵庫南 自己改革取組状況（協同活動ハイライト）

「安心」「笑顔」の種を蒔き、 未来へ「つながる」実をつくろう

このメインテーマには、組合員をはじめ地域の皆様から、「JA兵庫南があって良かった！」と言っていた協同組合をめざして全役職員が一丸となって業務に取り組む意志を込めています。
令和6年度上半期の主な取組み状況を紹介します。

安心して続けられる農業の実現（地域営農振興計画）

販売力の強化

【重点品目を中心とした農産物の安定的な販売】

- ・「スイートモーニング」の販売協力店数の増加に取り組み、9月末時点での実績は8店舗で、目標の266.6%を達成しました。量販店に対してブランドを活かした販売提案を行い、県内で6店舗の新たな販売先が増えました。また販売数量は3,960本で、前年対比133.0%増加しています。



生産力の強化

【水稻新品種の取り組み】

- ・関係機関と連携し、キヌヒカリ代替品種の試験栽培に取り組み、ひょうごの水稲オリジナル品種の選抜（2系統の内の1系統の兵系92号）試験を加古川地区において実施しました。（令和6年度中にオリジナル品種が決定）

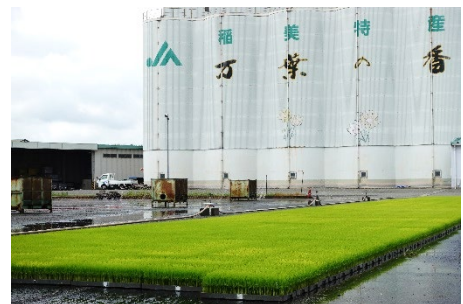
【鳥獣害対策の推進】

- ・獣害防止対策支援事業を活用し、組合員のニーズに応じた資材予約を行うことで、捕獲器などの供給が増加し、9月末の実績は288万円（目標対比144.0%）でした。

組合員の高齢化、労働力不足に対する取り組み

【労働力や後継者が不足する地域農家と地域の人材とのマッチング】

- ・農業求人サイトや援農ボランティアの利用拡充に取り組み、農業関連求人の募集として、15件の掲載をしました。
また援農ボランティアでは、登録件数の累計目標27件に対して、31件の登録となりました。（目標対比114.8%）



次世代の農業者に対する取り組み

【新規就農者が継続営農するための支援】

- ・新規就農者向け補助事業取扱を11件取り扱いました。
また、新規ハウス建設資金の助成を4件(131.3万円)の支援を行いました。

営農指導体制の確立・強化

【営農指導の増進】

- ・営農渉外担当者1人あたり341件の訪問を行い、農繁期などは営農経済センターでの業務を通じて、組合員指導に努めました。
また、成長効率化プログラムを通じて営農渉外の体制整備について協議しました。営農指導強化プランの見直しや、育成プランの確立を通じて出向く営農指導体制を強化し、営農相談窓口の充実を図ります。



笑顔あふれる地域づくり

次世代・若年層の組合員との関係強化

【食農教育活動の充実】

- ・ふぁ～みんな食農教育支援金活動へ67団体(うち新規5団体)の申し込みがありました。

【次世代組合員確保のための取り組み】

- ・若年層の組合員加入を促進するため、組合員出産祝金制度の継続およびPRを強化しました。その結果、出産祝金申請者は104名となり、そのうち新規組合員は27名(9月末時点)でした。

学校との連携

【食育活動や金融教室など、学校との連携実施】

- ・加古川支店にて親子金融教室を開催し、1億円の重さ体感などを実施しました。

組合員組織活動の活性化と連携強化

【准組合員の意思反映・運営参画への取り組み】

- ・准組合員の利用者懇談会を引き続き開催し、JAの事業の理解と利用促進に取り組んでいます。

【支店ふれあい活動の充実】

- ・地区役員とふれあい委員中心の委員会活動の実施に取り組み、17の支店事業所で39件の活動が実施されました。



信頼とつながり強化に向けた情報発信

【相談機能の充実】

- ・11月8日JAトータルサポートセンターオフィス加古川がオープンします。

次代へつながる経営改革の実践

環境の変化を踏まえた持続可能な経営基盤の確立

【金融共済事業涉外体制の見直し】

- ・総合複合涉外体制に向け、複合涉外全員がつみたて投信の販売ができるようになるため、3か月ごとの教育期間を設け、総合複合涉外の育成に努めています。

【組合員の増加】

- ・正組合員加入実績 195名 准組合員加入実績 1,087名となり、9月末の組合員総数は64,949名となり、期首より647名増加となりました。

【組合員との対話強化】

- ・常勤役員と営農経済担当者による「担い手農家訪問」を行い、直接ご意見やご要望をお聞きしました。

デジタル技術の活用

【非体面チャネルの増強】

- ・WEBを活用したオンライン面談の増加による、顔の見える関係強化へ取り組み、今後WEB面談の必要のある相談者に、順次対応していきます。

環境の変化に対応できる人づくり

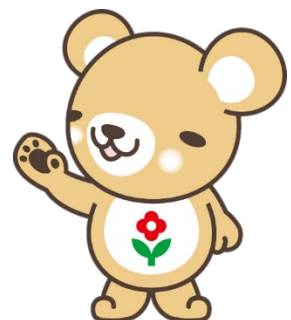
【女性の活躍促進】

- ・女性組合員の加入促進を行い、9月末での新規加入組合員1,282名に対し、女性組合員は726名(56.6%)の加入となりました。

ご案内

イベント、商品紹介、事業等については、当JAの広報誌「ふぁ～みんな」やホームページでもご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.ja-hyogominami.com/>



5. 農業振興活動

JA兵庫南は、「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため地域農業の振興を図るとともに、農業を通じた豊かな地域社会の発展をめざして、次のような農業振興活動に取り組んでいます。

1. 安全・安心な農産物づくりへの取り組み

消費者に安全・安心な農産物を提供するため、JAで荷受する米・麦・大豆・野菜などの全出荷者に生産日誌記帳ノート等を提出していただき、農薬使用における適正使用の徹底を図っています。



六条大麦 収穫

2. 集落営農組織の育成・支援

米・麦・大豆を作付けする営農組合等の担い手への農業所得確保に向け、栽培指導の強化に努めています。また、スマート農業の研究や実践といった取り組みをしています。



減農薬・有機栽培の
米生産に向けた実証試験
(本田営農組合)

3. 地産地消の取り組み

管内に8店舗の農産物直売所（ふぁ～みんSHOP）を設置し、新鮮で安全・安心な地元農産物を供給し、地域の消費者に喜んでいただける店舗づくりをめざしています。

農家の生産力を向上させて直売所への出荷量を増やすための講習会や、新規農家の育成や施設園芸の面積拡大をめざして、補助事業の活用やハウス導入経費の一部をJAが助成する取り組みをしています。



にじいろふぁ～みん
「いなみトマト祭り」

4. 農業とのふれあい活動

“「安心」「笑顔」の種を蒔き、未来へ「つながる」実をつくろう”をメインテーマに、児童を対象に農業体験を開催し農業への理解を深めました。また、「ふぁ～みん食農教育支援金」により各種団体の食農活動を支援しています。



ちゃぐりんスクール
さつまいも苗植え付け体験

5. 食育の取り組み

ちゃぐりんスクールの開催並びに、水稻や野菜の植付・収穫体験イベント・料理教室などを各地で開催することにより消費者とのふれあい活動を実施し、農業の理解を深め広げる活動に取り組んでいます。



ふれあいイベント
玉ねぎ収穫体験

6. 地域貢献情報

JA兵庫南は、協同組合活動の原点である「組合員の営農と暮らし」を守り、地域農業の振興に努めるとともに、地域社会の発展に貢献するため様々な活動を展開しています。

1. 社会貢献活動

① 環境問題への取り組み状況

- ・持続可能な農業の確立に向け、(株)神戸製鋼加古川製鉄所の鉱さい（製鉄工程で産出される副産物）を原料とした肥料（ケイカル、転炉さい）の供給を始めました。
- ・地球温暖化防止のために加古川市と「加古川市ゼロカーボンパートナー」協定を結びました。
- ・省エネルギーを実践するため、「クールビズ」の実施に取り組んでいます。
- ・農業用廃プラスチック・不要農薬の回収を実施しています。

② 各種募金活動・公益団体などへの寄付を行っています。

③ 献血活動の実施



加古川市ゼロカーボン
パートナー証贈呈式



募金活動



献血（日本赤十字社と連携）



2. 地域貢献活動

（１）地域からの資金調達の状況

① 貯金残高（令和6年9月末現在）

（単位：百万円）

種 類	残 高
当座性	257,498
定期性	424,549
小 計	682,048
譲渡性	—
合 計	682,048

（２）地域への資金供給の状況

① 貸出金残高（令和6年9月末現在）

（単位：百万円）

種 類	残 高
農業近代化資金	—
その他制度資金	3
農業関連融資	434
事業関連融資	7,106
住宅関連融資	170,199
生活関連融資	4,517
その他	244
合 計	182,506

（３）文化的・社会的貢献に関する事項

① 福祉活動

組合員・地域住民を対象とした健康診断活動、高齢者福祉活動、地域助け合い活動に取り組んでいます。

② 職員の地域貢献への参加

地域の清掃活動など社会活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を実践しています。



清掃活動



町ぐるみ健診



農協施設の社会科見学

3. 地域密着型金融への取り組み

(中小企業等の経営の改善及び地域の活性化のための取り組み状況を含む)

(1) 農業者等の経営支援に関する取り組み

当JAは、「組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するJAづくりと、人・農業・自然が共生できる地域社会づくりをめざします」という経営理念のもと、農業者をはじめ地域の皆様に利用される総合事業体として営農・経済事業や金融機能のみならず、環境・文化・福祉といった面も視野に入れた事業・活動を行っています。

なかでも、農業者等の経営支援を重点取り組み事項の1つとして位置づけ、農業技術・生産性向上に向けた各種研修会を開催するほか、契約栽培の拡大や直売所での農産物販売拡大、また地元量販店への出荷拡大等に取り組んでいます。

(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

各営農経済センターに営農渉外係を配置するとともに、関係機関と連携し、農業者の農業技術・生産性向上に向けた相談・指導に応じています。

また、支店の融資担当者も農業や農業関連融資に関する知識を深め、農業者からの幅広い相談に応じることができるよう、日々研鑽しています。

(3) 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

農業者の多様なニーズに 대응していくため、農業融資担当部門と営農経済部門とが連携し農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施するとともに、各種プロパー農業資金に対応し、また農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて農業者の農業経営と生活をサポートしています。

(4) 担い手の経営のライフステージに応じた支援

農業後継者として新規就農者を対象に「かがわ育農塾」を開催しています。また、卒業後の農業経営と生活をサポートしています。

(5) 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ担い手に適した資金供給手法の取り組み

農業融資については、営農経済部門と連携し、取引実績や青色申告書等を活用した経営分析を通じて、農業者に適した資金提案を行っています。また、営農に必要な営農ローン、加工・流通・販売に関する設備・運転資金としてアグリマイティー資金があります。

(6) 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域への貢献

「地域密着型支店づくり」による支店運営、農産物直売所の運営等を通じ、組合員、地域住民、消費者等のニーズを把握し、より身近な事業運営を行っています。

次代を担う地域の小学生等に対しては、農業への理解を促進するため、ちゃぐりんスクールをはじめ、ふぁ～みん食農支援金制度を通じた食農教育活動に取り組んでいます。

また、女性を対象とした「ふぁ～みんレディースカレッジ」、男性を対象とした「ふぁ～みん男ディカレッジ」を開講し、新しい学びと仲間づくりの場として、カルチャー教室を開催しています。

(7) 「経営者保証に関するガイドライン」への対応方針

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当JAは、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢整備を実施致しました。

当JAは、今後、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

7. 事業の概況

国内農業は生産者の減少や高齢化、耕地面積の減少など生産基盤の縮小が続くなか、生産資材の高騰により農業経営は厳しさを増しており、我が国の食料安全保障の土台が揺らいでいます。また、不安定な世界情勢の影響などから資源価格や原材料価格は高止まりしており、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当ＪＡでは、上記を踏まえ、今後とも多様な組合員の声をＪＡ運営に反映し、地域農業の振興に努めるとともに、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立・強化し、地域に根差したＪＡをめざします。

当ＪＡは堅実で健全な経営を基本理念として、次のことに取り組みました。その結果、令和６年９月末日現在の当期剰余金は８億９３百万円となり、前年比１０２.８％となりました。

信用事業では、持続可能な収益性と将来にわたる健全性の確保に向け、早期警戒制度に対応した取り組みを強化しました。また、少子高齢化が進む中、時代を取り巻く環境変化を見据え、多様化する組合員・利用者のニーズに寄り添う相談活動により事業基盤強化とシェア拡大に努めました。この結果、貯金は６,８２０億４８百万円となり、期首より４８億３９百万円の減少となりました。預金は４,８１９億２９百万円で期首対比９９.１％、４１億８３百万円の減少となりました。貸出金は１,８２５億６百万円で期首対比１００.４％、８億６４百万円の増加となりました。有価証券は１２２億２５百万円で期首対比１０３.６％、４億３２百万円の増加となりました。

共済事業では、契約者に寄り添い、「ひと・いえ・くるま」の「３Ｑ活動」・「あんしんチェック」を通じてアフターフォローを強化し、利用者満足度の向上に取り組みました。また、自然災害が多発する中、安心して暮らせる総合的な保障提供に努めました。この結果、長期共済保有ポイントは２,５０１万ポイントで期首対比９９.０％、計画対比１００.９％となりました。

購買事業では、営農渉外担当者の訪問活動により、農家への情報提供・相談機能を高め、持続可能な農業を支える取り組みを行いました。また、予約購買を強化し、値引きや大口奨励等の実施により生産コストの低減を図り農家所得の向上を支援しました。この結果、購買品供給高は５億１３百万円、購買品取扱高（代理人取引）に係る購買手数料は１３百万円となりました。

販売事業では、食の安全を提供するため、直売所では地元の新鮮な農畜産物の提供を基本に県内外のＪＡと連携し、品ぞろえ豊富な魅力ある店舗づくりに努めました。

また、特産物としてのブランド力を活かし、組合員の生産する農産物の新たな販売経路の開拓に取り組みました。この結果、受託販売品販売高は１６億５１百万円で、畜産販売については預託牛の販売頭数の増加と枝肉平均単価の上昇により販売高が増加しましたが、青果販売において春キャベツ等の生産コスト高騰による作付面積の縮小や天候不順等による秀品率低下の影響を受けて、前年比１２百万円減少し、受託販売に係る販売手数料は１億３５百万円となり、５百万円の減少となりました。

地域貢献活動では、地域に密着したＪＡとして、支店ふれあい委員会を中心とした地域清掃活動や、ふれあいイベントを実施し、地域の皆様から好評を得ています。

また、「ふぁ～みん食農教育支援金制度」では、食農活動の輪を広げるとともに地産地消の啓発活動を展開しています。

ＪＡ兵庫南の経営理念である「組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するＪＡづくりと、人・農業・自然が共生できる地域社会づくり」をめざして、全役職員が一致団結して協同の力を結集し、より健全な職場風土を築くと共に新たな目標をめざして、今後も新たな取り組みを展開していきます。

(1) 事業実績の推移

預金

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
系 統 預 金	当 座 預 金	—	—
	普 通 預 金	385	89
	通 知 預 金	3,300	—
	別 段 預 金	603	603
	定 期 預 金	477,400	485,250
	小 計	481,688	485,942
系 統 外 預 金	241	171	112
合 計	481,929	486,113	495,009

有価証券

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
国 債	1,591	1,654	1,660
地 方 債	3,745	4,109	4,131
政 府 保 証 債	521	541	544
特 殊 法 人 債	1,676	1,729	1,733
社 債	4,690	3,758	3,013
合 計	12,225	11,793	11,083

貸出金

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
手 形 貸 付 金	81	87	124
証 書 貸 付 金	182,024	181,075	180,079
当 座 貸 越	400	478	479
金 融 機 関 貸 付	—	—	400
合 計	182,506	181,642	181,083
(うち金融再生法債権)	(369)	(460)	(442)

貯金

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
当 座 性	当 座 貯 金	567	453
	普 通 貯 金	255,751	244,860
	貯 蓄 貯 金	1,110	1,131
	通 知 貯 金	—	—
	別 段 貯 金	68	459
	小 計	257,498	246,905
定 期 性	定 期 貯 金	413,300	427,198
	定 期 積 金	11,249	12,784
	小 計	424,549	439,983
合 計	682,048	686,888	691,583

借入金

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
手 形 借 入 金	—	—	—
証 書 借 入 金	—	—	—
当 座 借 越	—	—	—
制 度 借 入 金	3	5	5
合 計	3	5	5

長期・年金共済契約高・保有契約高

(単位：百万円)

種 類		令和6年9月末		令和6年3月末		令和5年9月末	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
生命総合共済	終 身 共 済	51,168	306,521	51,328	313,270	51,348	318,830
	定期生命共済	461	3,978	452	4,198	450	4,159
	養老生命共済	10,714	40,256	11,168	42,910	13,244	50,641
	うちこども共済	(8,472)	(24,154)	(8,556)	(24,760)	(8,597)	(25,352)
	医 療 共 済	16,870	7,085	16,981	7,462	17,072	8,053
	が ん 共 済	5,821	469	5,826	476	5,864	489
	定期医療共済	562	1,075	591	1,120	614	1,176
	介 護 共 済	5,035	16,560	4,930	16,057	4,716	15,248
	認 知 症 共 済	496		490		463	
	生活障害共済	2,436		2,391		2,360	
	特定重度疾病共済	1,840		1,853		1,834	
	年 金 共 済	22,009	561	21,987	602	22,138	658
	建 物 更 生 共 済	29,616	402,738	30,039	405,225	30,656	410,546
合 計		147,028	779,247	148,036	791,324	150,759	809,804

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに保障金額(生命系共済は死亡保障の金額(付加された定期特約金額等を含む))を記載しています。

医療系共済の入院共済金額保有高

(単位：百万円)

種 類		令和6年9月末		令和6年3月末		令和5年9月末	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
医療共済	入院共済金額	16,870	57	16,981	61	17,072	65
	治療共済金額		1,202		1,104		1,024
が ん 共 済		5,821	33	5,826	33	5,864	33
定 期 医 療 共 済		562	2	591	2	614	2
合 計		23,253	93	23,398	98	23,550	102
			1,202		1,104		1,024

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに共済金額を記載しています。
 なお、同一の共済種類に主たる共済金額が複数ある場合は、新たに欄を追加して記載するとともに、共済種類ごとの合計欄を記載しています。

介護共済・認知症共済・生活障害共済・特定重度疾病共済の介護共済金額保有高

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末		令和6年3月末		令和5年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介 護 共 済	5,035	19,807	4,930	19,134	4,716	18,103
認 知 症 共 済	496	1,221	490	1,215	463	1,145
生 活 障 害 共 済 (一時金型)	1,855	17,973	1,812	17,586	1,772	17,167
生 活 障 害 共 済 (定期年金型)	581	622	579	616	588	627
特定重度疾病共済	1,840	2,927	1,853	3,024	1,834	3,066

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに共済金額を記載しています。

年金共済の年金保有高

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末		令和6年3月末		令和5年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
年 金 開 始 前	16,623	10,996	16,664	10,996	16,885	11,114
年 金 開 始 後	5,386	3,078	5,323	3,020	5,253	2,966
合 計	22,009	14,074	21,987	14,016	22,138	14,080

(注) 金額は、年金年額を記載しています。

短期共済新契約高

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末		令和6年3月末		令和5年9月末	
	金額	掛金	金額	掛金	金額	掛金
火 災 共 済	22,236	19	50,114	42	22,518	19
自 動 車 共 済		455		907		429
傷 害 共 済	8,833	3	20,925	13	10,585	3
団体定期生命共済	—	—	—	—	—	—
定額定期生命共済	8	0	12,000	0	8	0
賠償責任共済		0		0		0
自 賠 責 共 済		40		80		40
合 計		519		1,045		494

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに保障金額（死亡保障又は火災保障を伴わない共済の金額欄は斜線。）を記載しています。

購買品供給・取扱高

(単位：百万円)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
購 買 品 供 給 高	513	917	498
購 買 品 取 扱 高	169	297	153
合 計	682	1,215	652

販売品販売高

(単位：百万円)

種 類		令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
受託販売	米 麦	380	893	381
	青 果	110	288	142
	畜 産	278	526	233
	ふぁ～みん SHOP	882	1,724	906
	合 計	1,651	3,432	1,664
買取販売	米 麦	5	9	—
	青 果	20	19	—
	ふぁ～みんSHOP直売米	176	329	165
	ふぁ～みんSHOP(その他)	216	365	198
	合 計	418	724	363

(2) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

保有区分	令和6年9月末			令和6年3月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	13,884	12,225	△1,658	13,084	11,793	△1,291
合 計	13,884	12,225	△1,658	13,084	11,793	△1,291

- (注) 1. 時価は市場価格等によっています。
 2. 取得価額は、取得原価又は償却原価によっています。
 3. 満期保有目的の債券については、取得価額を貸借対照表価額として計上しています。
 4. その他有価証券については時価を貸借対照表価額としています。

(3) 金銭の信託の時価情報

該当する項目はありません。

(4) 預かり資産の状況

①投資信託残高（ファンドラップ含む）

(単位：百万円)

項 目	令和6年9月末	令和6年3月末
投資信託残高 (ファンドラップ含む)	3,464	2,727

(注) 投資信託残高（ファンドラップ含む）は「約定日基準」に基づく算出です。

②残高有り投資信託口座数

(単位：口座)

項 目	令和6年9月末	令和6年3月末
残高有り投資信託口座数	3,609	2,949

(5) 自己資本比率（単体）

令和6年9月末	令和6年3月末
14.07%	13.53%

8. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：百万円)

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和6年9月末	366	112	2	251	366
	令和6年3月末	428	118	—	310	428
危険債権	令和6年9月末	2	—	2	—	2
	令和6年3月末	31	6	23	—	30
要管理債権	令和6年9月末	—	—	—	—	—
	令和6年3月末	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	令和6年9月末	—	—	—	—	—
	令和6年3月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和6年9月末	—	—	—	—	—
	令和6年3月末	—	—	—	—	—
小計	令和6年9月末	369	112	4	251	369
	令和6年3月末	460	125	23	310	459
正常債権	令和6年9月末	182,197				
	令和6年3月末	181,256				
合計	令和6年9月末	182,566				
	令和6年3月末	181,716				

(注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

4. 三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

5. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

6. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。



2024（上半期）ディスクロージャー／JA 兵庫南
令和6年12月発行
兵庫南農業協同組合
発行責任者 代表理事組合長 野村 隆幸
〒675-0066 兵庫県加古川市加古川町寺家町 621 番地
TEL 079-424-8001（代）
FAX 079-424-1134
<http://www.ja-hyogominami.com/>

「安心」「笑顔」の種を蒔き、
未来へ「つながる」実をつくらう

Farming Power Up Plan 2023~2025